

▶優勝報告会後に全員でガッツポーズ!!



◀父清史さんと共に勝ち取った優勝のメダルと表彰状を手にする葉奈さん

10月26日に鳥取県で開催された第11回全日本中学生女子相撲大会の中学生超軽量級(50kg未満)に出場して見事優勝した松尾葉奈さん(小中一貫校中央校9年生)と父清史さん、そして太田春美中央校校長が11月6日市役所を訪問し、横尾市長に優勝報告を行いました。

超軽量級には全国から15人が出場。優勝の決まり手は、得意とする『押し出し』で、「日ごろの練習の成果の賜物です」と語る松尾さん。1日おきのジムでのトレーニングや父清史さんによる技術指導、高タンパク・低カロリーの食事メニューでの体調管理を活かして日々練習に打ち込みます。

来年進学を控える松尾さんは、今後も相撲を続けることを視野に入れながら、受験勉強も頑張っており「今後の目標は、全日本相撲大会一般の部での優勝です」と今後の目標を笑顔で語りました。

また、同行した太田校長は「生徒や保護者の励みになります。学校全体で応援しています」とエールを送りました。

まつおかんな
 松尾葉奈さん(中央校9年) 全日本中学生女子相撲大会優勝報告

日頃の練習の成果の賜物

調停制度への貢献に対し最高裁判所長官表彰!

調停委員として17年、小野慧子さん

10月23日、最高裁判所長官表彰が東京都千代田区の最高裁判所で行われ、小野慧子さん(北多久町)に授与されました。

小野さんは、平成9年4月から調停委員として17年間にわたって、家族・親族間の争いなどの家事調停や金銭問題などの民事調停に携わり、調停制度を地域から支えてきました。

「教師として31年間勤めた経験や知識が役に立ったと思います。当事者双方が笑顔で帰られたときは嬉しかったですね。もっと多くの人に調停制度を知ってもらいたいです」と小野さん。調停委員は、当事者双方の言い分をよく聞いて、話し合いの中で合意をあっせんして紛争の解決を図る難しい仕事。常に公平と平等、当事者双方との信頼関係をつくることを心掛けたとのことでした。

「厳粛な最高裁判所という場所で授与していただき、がんばってよかったと思います。この表彰は家族の支えがあったからです」と受賞の喜びを語られました。



▶表彰状を手喜びの表情の小野さん



▶小野慧子さんと夫の小野春彦さん

10/30 Thu.

ハロウィンイベント in あいばれっと



あいばれっとで「ハロウィンイベント」が開催されました。これは、あいばれっとを「ハロウィンバージョン」に飾りつけようと集った女性有志が企画。SNSや口コミで呼びかけ、思い思いに仮装した約200人が集まりました。

仮装した子どもたちは、まちを練り歩き「第一カーテン」、「深山生花店」、「和醸良酒とりごえ」、「都通りを復活させる会(都通り広場)」を訪ね、用意されたお菓子をいただき、大喜び。また、多クミュージカルカンパニーとVABENAによるダンスが披露され、最後は、来場者と一緒に「恋するフォーチュンクッキー」を踊るなどして、多クのハロウィンを楽しみました。

10/25 Sat.~11/24 Mon.

多ク市郷土資料館特別企画展「旧多ク領の肥前狢犬展」



多ク市郷土資料館で特別企画展「旧多ク領の肥前狢犬展」を開催しました。

今回は、小城市砥川、杵島郡江北町の一部、武雄市北方町などの旧多ク領から肥前狢犬62体と新たに確認された北多久町岸川の1体を収集し、展示したものです。

肥前狢犬は、16世紀後半から18世紀前半に製作されたもので、ユニークな顔立ちや体型が特徴。来場者は素朴でかわいい狢犬を鑑賞しました。

肥前狢犬を学ぶ会会員の永瀨秀治さんは「貴重な文化財として守っていきたい」と狢犬への想いを語りました。